日経平均株価
１万９４７０円４１銭
▼２３２円２２銭（前日比）
ＴＯＰＩＸ
１５９７．３６
▼１７．４６（前日比）

marketpress.jp
証券市場新聞
2017
8/21
月曜日

発行元　ココ・パートナーズ株式会社
〒542-0081　大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F
TEL 06-6105-1904　FAX 06-7635-7861
marketpress.jp

「ハロウィーン」商戦始まる

2大テーマーパークやグッズ販売

消費関連見直しの契機に

９月から「ハロウィーン」商戦が実質的にスタートする。近年では２月のバレンタインデーや年末のクリスマスに続く大型商戦として定着し、年後半の消費動向を占ううえでもその重要度が一段と高まっている。直近、株式市場では第１四半期で好決算だった電子部品セクターなどに関心が集まっていたが、今年も「ハロウィーン」の盛り上がり次第では、その関連と消費セクターに目が向けられることになりそうだ。

９月からハロウィーン商戦が始まる

10月31日に行われる「ハロウィーン」は米国やカナダからアイルランドやイギリスなどの欧州へと普及し、盛大に行われている。日本でも１９９７年からのＪＲ川崎駅前での「カワサキ・ハロウィン・パレード」が発端となり、**オリエンタルランド**（４６６１）が運営する東京ディズニーランドと大阪の**ユニバーサル・スタジオ・ジャパン**（ＵＳＪ）の２大テーマーパークの季節イベントが「ハロウィーン」の普及に大きく貢献している。両テーマーパークとも年間のなかでもこの時期の入場者数が最も多くなる時期であり、オリエンタルランドの業績動向はもとより、ＵＳＪの絡みでは、周辺にオフィシャルホテルを有する**京阪ホールディングス**（９０４５）や**近鉄グループホールディングス**（９０４１）もインバウンド需要を含めて注目されることになろう。

ハロウィーングッズでは、**東急不動産ホールディングス**（３２８９）傘下で市街地立地型のホームセンターを大都市で展開する東急ハンズがハロウィーンを楽しむ多数の仮装グッズを扱っており、ｍｅｅｔｓ（ミーツ）やシルクの店舗名で展開する**ワッツ**（２７３５）や**セリア**（２７８２）の１００円ショップもハロウィーングッズでは恩恵が大きい。

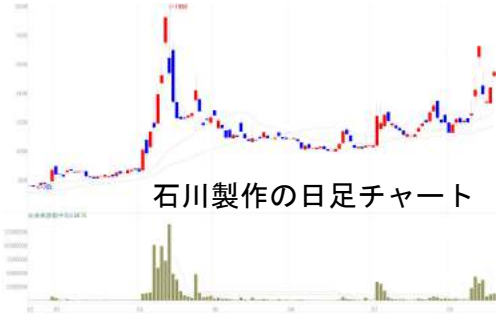
日経平均日足チャート

今週の動意銘柄

防衛関連株軒並み高

地政学リスクさらに高まる

週明け14日、**石川製作所**（6208）がストップ高に買われたほか、**東京計器**（7721）、**細谷火工**（4274）も大幅高、**豊和工業**（6203）や**重松製作所**（7980）、**日本アビオニクス**（6946）など防衛関連銘柄が軒並み高に買われた。米国と北朝鮮の緊張関係が続き、地政学リスクが高まるなか、前週末のNY市場でロッキード・マーチンなど航空防衛関連が買われたことも物色意欲を強めさせた。


石川製作の日足チャート

シード急騰し高値

14日、**シード**（7743）が急騰、年初来高値を更新した。18年3月期の第1四半期連結決算を発表、売上高は67億7500万円（前年同期比19・3%増）、営業利益は6億8400万円（同2・2倍）と大幅な増収増益を達成したことが好感された。コンタクトレンズが概ね順調に推移している。

TYKは上方修正

14日、**TYK**（5363）が3日続伸、年初来高値を更新した。18年3月期の連結業績予想を営業利益で11億円から15億3000万円（同15・1%増）へ上方修正した。鉄鋼向耐火物のほか、新素材関連商品の需要増が見込めることが要因。

ホシデン目標株価引き上げ

15日、**ホシデン**（6804）が急伸、年初来高値を更新した。三菱UFJモルガン・スタンレー証券がレーティングを「Neutral」から「Overweight」へ、目標株価を1200円から2000円へ引き上げた。Nintendo Switchハード組立を請け負うと想定し、今後の需要増加に伴う業績拡大を織り込む局面が到来したと指摘。18年3月期は連結営業利益で会社側計画の85億円（前期23億7300万円）に対して従来予想の57億円から95億円へ、19年3月期は49億円から130億円へ引き上げている。

川田TECHは赤字

14日、**川田テクノロジーズ**（3443）がストップ安。18年3月期の第1四半期の連結決算を発表、営業損益は5億7100万円の赤字（前年同期9億6900万円の黒字）、最終損益は7億5500万円の赤字（同16億8900万円の黒字）と赤字決算となった。設計変更の獲得までには至らなかった工事が多く、原価が先行している。

オンキョーAI搭載スピーカー

15日、**オンキョー**（6628）が急反発。この日、自動車向けに人工知能（AI）を搭載したポータブルスピーカーを開発し、SDL対応による車とのインターネットとの連携やスマートフォンとの連携を目指すと発表したことが買い手掛かりになった。運転時の騒音や振動、反響音が多くなるなどの悪条件下での音声認識への課題に対応するとしている。

記者の視点　決算短信簡略化で思うこと

日経報道でも何度も伝えられていたが、決算短信の記載内容の一部を自由に変更できる簡略化が始まった。短信の内容を省略して企業の負担を減らし、速報性を高める狙いだが、企業の情報開示の後退につながると物議を醸している。省略が目立ったのが配当など利益配分に関する説明で、主要企業の3社に1社が記載をなくし、業績の説明を省いた企業も増えた。

投資家やアナリストは数値だけでなく、経営成績の説明などの定性情報などを投資判断基準にしているケースが多く、証券記者にとっては記事作成がむつかしくなる。特別損益などは損益計算書で確認できるが、好不調部門が分からなければ簡単な解説もできない。企業によって決算情報の質と量が違えば、おのずとメディアへの露出にも差が出て株価にも影響があるだろう。

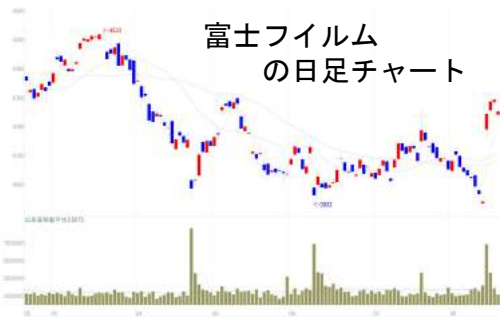
もちろん、企業取材の重要性が増してくると思っている。

株山券壱

富士フイルム急伸

1Q21．5%営業増益

15日、**富士フイルムホールディングス**（4901）が急伸。18年3月期の第1四半期の連結決算を発表、営業利益は358億3600万円（前年同期比21・5%増）、純利益は438億2000万円（同3・6倍）と大幅な増益となったことを好感した。イメージングソリューション部門で電子映像事業が大きく売り上げを伸ばし、インフォメーションソリューション部門でも電子材料事業やメディカルシステム事業が拡大している。



防衛関連一転売り

15日、**石川製作所**（6208）が東証1部値下がり率トップに売られたほか、**細谷火工**（4274）や**豊和工業**（6203）、**東京計器**（7721）、**重松製作所**（7980）など防衛関連株が急反落。北朝鮮がグアム島周辺に弾道ミサイルを発射すると公表したことで、前日は軒並み高となったが、ティラーソン米国務長官とマティス米国防長官が米紙ウォール・ストリート・ジャーナルに外交的・経済的圧力を加えることでミサイル計画破棄を目指すことを寄稿したことを受け緊張感が緩和。一転売り優勢になった。

ペッパーは新値街道

1部指定で新規買い需要継続

16日、**ペッパーフードサービス**（3053）が7連騰で連日の最高値更新。15日付で東証2部から1部へ指定変更となったことから、TOPIX連動ファンドなどに絡む買い需要を含めて同社株を新たに組み入れる動きが活発化した。ステーキのファーストフード店では既存の「ペッパーランチ」に加え、立ち食いの「いきなりステーキ」が成長、従来の発想を超えた店舗展開には様々なメディアも取り上げており、知名度が向上している。

極洋は完全養殖マグロ

16日、**極洋**（1301）が続騰、6日ぶりに上場来高値を更新した。「11月から完全養殖したクロマグロの出荷を始める」との報道が材料視された。17年度に60トン、18年度には200トンを出荷すると伝えており、養殖クロマグロの早期収益貢献を期待した買いが向かった。

フクビ化S高で新値

16日、**フクビ化学工業**（7871）が急伸、ストップ高まで買われ3月につけた年初来高値を更新した。16日付の日本経済新聞が「フクビ化学工業を中心とする産学グループが進める橋梁補修の技術開発が国土交通省の助成制度の採択を受けた」と報じたことが材料視された。

enishは4連騰

16日、**enish**（3667）が4連騰。欅坂46初となる公式ゲームアプリ「欅のキセキ」を、iOSとAndroid版に**ヤフー**（4689）が運営する「Yahoo!ゲーム」のPC用アプリケーション「Yahoo!ゲームプレイヤー」でも今秋配信することを発表した。「欅のキセキ」は、グループが歩んだ奇跡をたどるドキュメンタリーライブパズルゲーム。プレイヤーは新米マネージャーとしてメンバーを支え、彼女たちとともに成長していく。

転ばぬ先のテクニカル

下落基調を鮮明に

先々週に膠着相場を下放れた日経平均は先週も波乱の展開となりました。２５日線と７５日線のデッドクロスが目前となり、２６週線を割り込みました。一目均衡表では三役逆転となり、調整局面入りを鮮明にしてきました。

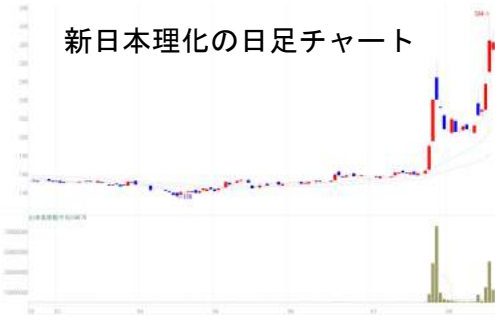
今後の下値のポイントは一目均衡表・日足の遅行スパンが位置する雲下限の１万９２３０円近辺。そこには４月２５日～５月１日に残した１万９１４４円～１万９１０９円の窓があります。更に突っ込むケースでは５２週移動平均線が位置する１万８８１２円で、ここは本年３月～４月の１４４４円幅を２万０３１８円高値から同値引いた１万８８７４円と近似値で有力です。

悪材料が立て続けに発生した場合は、昨年６月安値から本年６月高値までの５４５４円幅の３８．２%押し水準である１万８２３４円を目指すことになりましょう。

日々勇太朗

新日理5連騰で新値追い

好調な業績と仕手性から人気



17日、**新日本理化**（４４０６）５連騰、連日の高値更新。18年３月期の連結業績予想を営業損益で３億６０００万円の黒字から４億７０００万円の黒字（前期４億４２００万円の赤字）へ上方修正しており、これを契機に連日上値追いが続いた。２０１２年に１２９７円まで急騰した経緯があり、仕手系としてのイメージが強いが、今回は好調な業績から買い安心感がり、全般手詰まりの状況下、値動きの軽さから買いが買いを呼ぶ状況。

東邦鉛は相場上昇

17日、**東邦亜鉛**（５７０７）の上昇率は12％に迫った。ロンドン金属取引所（ＬＭＥ）で亜鉛相場（３カ月物）が１トン＝３０００ドル台に上昇、約10年ぶり高値水準となり、業績改善を期待した買いを集めた。

西武、サーベラス全株式売却

17日、**西武ホールディングス**（９０２４）は続騰。大株主だった米投資ファンドのサーベラス・グループが保有全株式を売却したと発表したことをポジティブ視された。潜在的な需給懸念が後退したほか、経営の自由度が広がると期待。後藤高志社長のコメント「約11年半にわたるサポートに感謝する」と発表した。

ＮＦ回路Ｓ高で新値

17日、**エヌエフ回路設計ブロック**（６８６４）がストップ高まで買われ、２日ぶりに年初来高値を更新した。日本経済新聞が、文部科学省は「量子コンピューター」を実用化するため、２０１８年度から10年間に約３００億円を投じる方針と報じたことで、微少信号測定器を扱う同社に思惑買いが集まった。来年度の概算要求に約30億円を盛り込むという。

保険値下がり上位

週末18日、**Ｔ＆Ｄホールディングス**（８７９５）や**ＳＯＭＰＯホールディングス**（８６３０）、**第一生命ホールディングス**（８７５０）など大手保険株が大幅続落、業種別騰落ランキングで保険が下落率上位となった。米トランプ大統領の問題発言で政策助言機関が解散するなど企業首脳らが相次ぎ離反、政策運営不安から米長期金利が低下し金融株が売られており、東京市場にもこの流れが波及した。株安もあって証券や銀行セクターも値下がり率上位に売られた。

マーケットの話題

根強い人気のポケモンＧＯ！

任天堂など基調講演に注目！

ＣＥＤＥＣ２０１７開催へ

８月30日から９月１日の３日間、日本最大にして世界的なゲーム開発者カンファレンスであるＣＥＤＥＣ（セデック）２０１７がパシフィコ横浜で開催される。１９９９年からラインという世界（仮）」と題して原作者の川原 礫氏法人コンピュータエンターテインメント協会（８ＣＥＳＡ）の主催で開催されており、モバイルからゲーム化がされている人気タイトルで今回の講演では最新ゲームの内容などが明らかになる可能性がある。これに続いて１日には**Ｎｉａｎｔｉｃ**から川島 優志氏と野村 達雄氏が登壇する。Ｎｉａｎｔｉｃといえば、昨年配信から社会現象ともなった**任天堂**（７９７４）傘下のポケモン社が提供する「ポケモンＧＯ！」を開発した企業。新モンスターの追加などアップデートを重ねており、今でも根強い人気が続いている。最新の動向が明らかになる可能性がありそうだ。

家庭用ゲーム機を含めて最先端の開発動向が明らかになる。その内容を通じて関連企業の今後の動向が注目されそうだ。

ＣＥＤＥＣ２０１７では30日に「ソードアート・オンライン」の特別講演が行われるほか、**バンダイナムコホールディングス**（７８３２）傘下のバンダイナムコエンターテインメントから原田 勝弘氏と二見 鷹介氏が登壇する。原作のライトノベルからアニメ化がゲ

堅調な消費関連に注目

９月まで調整ながら押し目買い

光世証券 本店コンサルティンググループ
課長代理 小川　英幸 氏

これまで悪材料が出ても市場は見向きもしなかったが、徐々に反応するようになってきた。これまで低かった株価のボラティリティが徐々に増大し始めている。また、市場のカナリアとして知られる米国の高利回り債も下落に転じてきており、市場全体が悲観に傾くまで調整が続くかもしれない。

米国のトランプ政権は日に日に混乱を増しており、コアな支持者も徐々に熱から覚め始めている。９月に入ると議会が再開するが、９月29日までに債務上限の引き上げを行わなければいけないようだ。現在のトランプ大統領には、議会で何かを決めることは難しそうであり、株価の重荷になりそう。またこの期限の前の９月19日と20日にはＦＯＭＣがあり、テーパリングが決定される可能性がある。この前後まで調整が続く可能性がある。一方で、経済指標や企業の決算内容は良好なものが多く、調整局面では良い仕込みどころとなるだろう。

消費関連を注目セクターに挙げたい。ここのところの経済指標では思いのほか消費が堅調。それにインバウンドも寄与して、今後も消費が伸びる可能性が考えられる。決算を見ても、**三越伊勢丹**（３０９９）や**高島屋**（８２３３）などは良い内容を発表しており、今後の株価変化を見込んで保有したい。好決算銘柄では、半導体・電子機器専門商社の**伯東**（７４３３）、**加賀電子**（８１５４）の電子部品商社や、非鉄の値上がりや車載用電池向け部材の需要が好調で、前年比での業績の伸びが大きくなっている**住友金属鉱山**（５７１３）に注目。

相場展望

日本ラッドは４連騰

18日、**日本ラッド**（４７３６）が４連騰。産業用コンピュータの分野で世界トップシェアのアドバンテック（台湾）とインダストリアルＩｏＴ（ＩＩｏＴ）分野におけるソリューションの販売で協業すると発表した。アドバンテックが推進するワールドワイドなＷＩＳＥ　ＰａａＳとＩＩＯＴのアライアンス上での日本初となる提携に基づいており、インダストリ４・０に対応するスマートファクトリーにフォーカスしたソリューションを提供する。

セレス仮想通貨子会社

18日、**セレス**（３６９６）が後場急伸。仮想通貨取引事業等を行う子会社を設立すると発表したことが好感された。国内大手の仮想通貨取引所を運営するビットバンクの、仮想通貨取引所の新規参入事業者向けホワイトラベル提供サービス「ｂｉｔｂａｎｋ　ｆｏｒ　ｂｒｏｋｅｒ」を利用して、仮想通貨取引所の新規運営を開始する予定という。

正直じいさんの大判小判

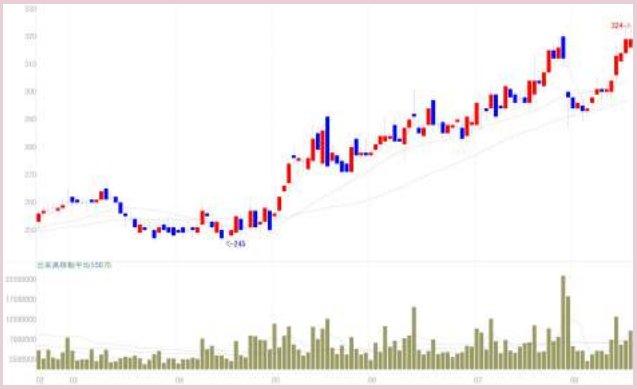
19日の東京市場は大幅続落となりました。トランプ米大統領の政権運営への不安が強まり、ＮＹ株が大幅に下落、為替が１０９円台半ばの円高に振れたことも投資家心理を悪化させました。東証１部の売買代金は概算で２兆１２００億円です。17日にＮＹが下げ幅を拡げたのはスペイン・バルセロナでのテロ事件発生後であり、これを材料に円高とセットによる売りが崩しになったと思われます。週明けは21日に米韓合同演習が行われる予定であり、これに対する北朝鮮の動向が懸念され、地政学リスクから引き続き軟調な相場展開が予想されます。安値を切ってきた以上、下げ止まりを確認するまでは手を出せませんが、個別で見ると指数ほど下げていない銘柄も多く、ＮＹ市場が落ち着けば下げ止まる可能性も高いと見ていますので、買い出動をいつでもできるように準備をしておきたいものです。**花咲　翁**

調整も買いの準備

今週の動意銘柄

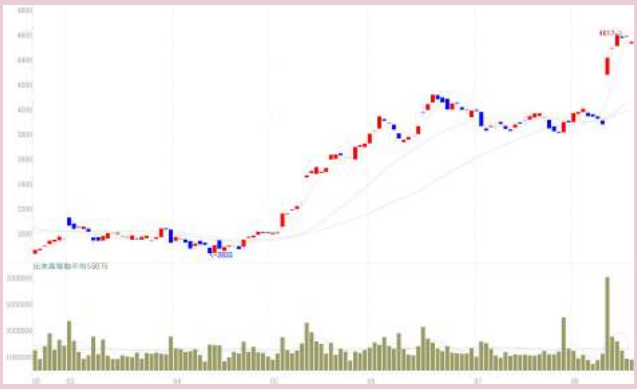
チャートから読む騰落銘柄

ガンホー（3765）



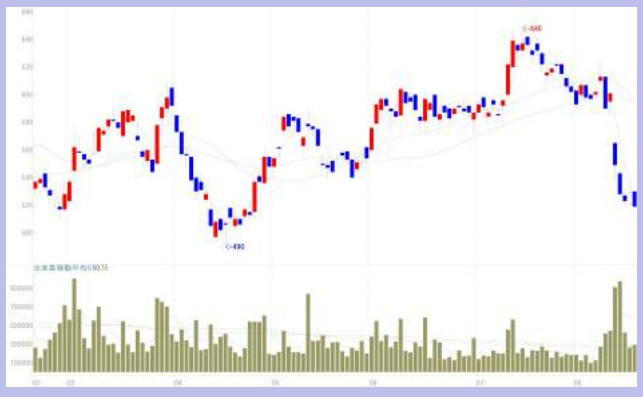
７月３１日に２８７円まで売られた後に再度の上昇基調に転換。日足が陽転し目先的には戻り売りをこなして、７月２８日に付けた年初来高値３２１円突破から一段高に期待。

資生堂（4911）



上場来高値更新後も強い動き。好業績に加え、１０日現在の信用倍率０．０８倍、１７日現在の貸借倍率０．００１倍の好取組みも株価を押し上げ、鋭角的に上昇する５日移動平均を下値支持に一段高へ。

日本電子（6951）



８月８日に６２３円まで戻した後は１８年３月期第１四半期赤字継続を嫌気して大幅な下落に。短期的な戻りがなければ、４月１７日に付けた年初来安値４９０円割れが視野に入る。

田淵電機（6624）

業績悪化受け急落後も底這い状態が続く。大勢下降トレンドのなか、急降下する５日移動平均に上値を抑えられ一段安も。年初来安値２８７円を割り込めば、２００円割れまで下値のフシ目はない。

※チャートは日足

潮流

追随売りの可能性低い

外人投機筋に潰されてきた日本株

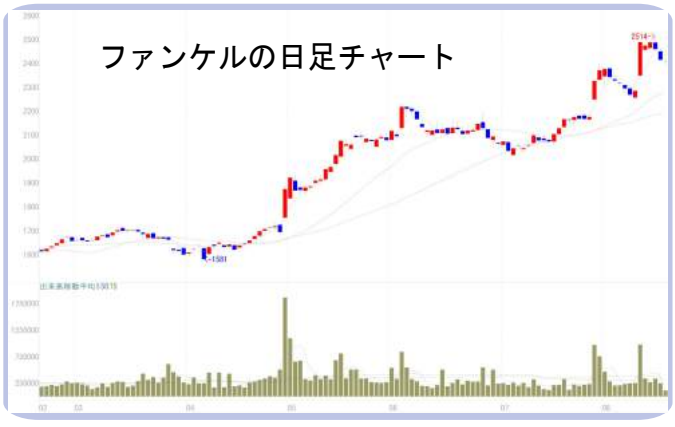
岡山　憲史氏（株式会社マーケットバンク　代表取締役）のプロフィール

１９９９年２月日本初の資産運用コンテスト「第一回ＳＩグランプリ」にて約１万人の参加者の中から優勝。直近では２０１７年１月に始まった夕刊フジ主催の「株・１グランプリ」において優勝。１カ月間における３銘柄の合計パフォーマンスでは１５５％と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

日経平均は８月８日までの２カ月間、２万円を挟んだボックス相場が続いていた。値幅の小さい日経平均に痺れを切らしたのか、売りを仕掛けたのが外国人投機筋だ。

北朝鮮問題を機に日本の株式市場を売り崩すには好都合だった。日経平均は８日～１４日までの４日間で５６９円急落した。１４日は１万９５００円の節目を下回る場面があった。この下げを主導したのは、外国人投機筋の日経２２５先物売りだ。大阪取引所が毎営業日公表している証券会社別の先物手口と１日当たりの売買高加重平均価格（ＶＷＡＰ）から計算すると、９日はクレディ・スイスが約１４００億円を売り越した。１０日はモルガン・スタンレーＭＵＦＧが８００億円、１４日はＵＢＳが９６０億円、モルガン・スタンレーＭＵＦＧが８００億円をそれぞれ売り越した。合計で４０００億円にも上る。

外資系証券を通じて売買する外国人投機筋の共通点はヘッジファンドなど相場の流れに沿って持ち高をつくる短期投資家が多い。９日にボックス相場を下放れすると、クレディから大口売りが出たのはそのためだ。クレディ１社だけで１４００億円もの巨額な資金で２２５先物を売れば需給的に大きな下げのインパクトを与える。９日の２２５先物のＶＷＡＰは１万９７４７円だ。クレディは１０日以降に大きく買い戻しを行っておらず、１５日時点で表面上の建玉は３６６２枚の売り越し状態となっている。１５日の日経先物の手口を見ると大幅上昇となったのは野村の大口買いだった。



225先物買戻しで大幅高へ

２２５先物は１５日には一時１万９８１０円まで上昇し、ＶＷＡＰ水準も１万９７４７円と９日並みの水準を回復した。２２５先物売りが目立っているモルガン・スタンレーやＵＢＳなども含めて売り方の買い戻しが入れば日経平均は大幅上昇する。なお、クレディから大量の売りが出るとかつては著名投機家のジョージ・ソロス氏が動いたのではないかと取り沙汰されていたが、今回はヘッジファンドではないようだ。大手ヘッジファンドでなければ資金的にそれほど余力はないと思われ、追随売りが出る公算は小さい。長い期間ショートを維持することも想定しづらい。

北朝鮮問題が沈静化し、米国株式市場の上昇と円安が進めばクレディやモルガンを中心に２２５先物の買い戻しが期待できる。今まで、日本の株式市場は必ず外国人投機筋の２２５先物売りで潰されている。

潮流銘柄は**ファンケル**（４９２１）、**富士機械製造**（６１３４）、**キャリアインデックス**（６５３８）。

高野恭壽の株式情報 これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活！

高野恭壽（たかのやすひさ）**氏**　1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめＴＶ、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

2万円復活へスタート

整理続けてきた銘柄を拾う

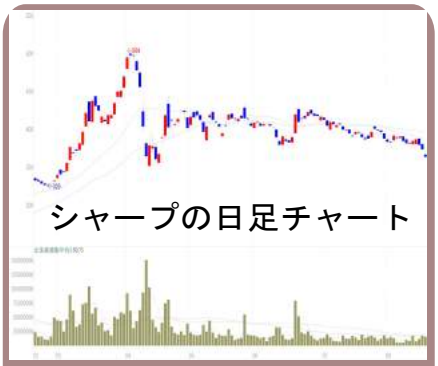
薄商いで推移しました。これは機関投資家の運用担当者の多くが夏季休暇をとっているためで、週明けには休暇が明けるために盛り上がりがみられるでしょう。スペインでのテロによるＮＹ安で18日の東京市場は値を下げましたが、北朝鮮の問題を含めてある程度は今回の下落で織り込んだと思います。日本のＧＤＰの予想以上の好調が再認識されて相場を押し上げることになると見ています。

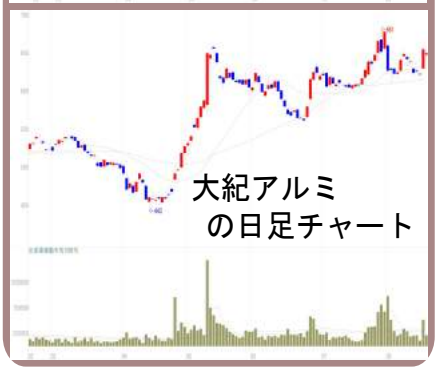
８月第４週は北朝鮮情勢を横目にしながらも上値を追い、日経平均は２万円台を回復しそうです。これまでにも指摘しましたように一貫して整理を続けていた銘柄の出直りが強くなると考えられ、そうした銘柄を拾う作戦が有効です。

チラチラしているのが海運株です。**川崎汽船**（９１０７）、**商船三井**（９１０４）、**日本郵船**（９１０１）が今期の業績の変化率の高さが注目されて買われていますが、まだ出始めの動きであり、とりあえず、打診買いするのも一策です。それと医薬品ですが、機関投資家好みであり、**塩野義製薬**（４５０７）を軸に**中外製薬**（４５１９）、**大日本住友製薬**（４５０６）、**第一三共**（４５６８）などを拾うことです。当欄の一貫推奨の**シャープ**（６７５３）は17日に出来高が膨らんで下落しました。これは投げがでたことを意味しますので、３７０円を割れる場面でもあればナンピン買いを入れるべきでしょう。**ジーエス・ユアサ　コーポレーション**（６６７４）は17日に寄り付きから下落したのち、下値が堅くなり引けではプラスに転じて終えましたので戻る可能性がでてきました。ナンピン買いも一策です。

大紀アルミニウム工業所（５７０２）が予想通り急伸しました。６８０円台の高値を奪還する可能性がでてきました。**住友化学**（４００５）も順調な上げになっていましたので上値余地があり持続でいいと思われます。

アンジェス（４５６３）が調整から反発しており、７００円台の回復が焦点になります。**伊藤忠商事**（８００１）も一服から出番が近づいてきました。





高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市情報これでどや！！
http://www.kabu-takano.com/
毎日情報を配信中！

今週の活躍期待銘柄

岡本工作機械（6125）

半導体装置関連の受注増加

岡本工作機械製作所（6125）の株価は7月27日に2960円の年初来高値更新後に高値揉み合いを経て50日移動平均線まで調整したが、好実態から押し目は買いの好機。

平面研削盤で国内トップを誇り、液晶や半導体製造装置も手掛けている。半導体関連装置はウェーハ需要回復への対応で投資意欲が旺盛な中国やアジア諸国において、ファイナルポリッシャーやグラインダー、デバイス生産用にバックグラインダーなどの受注が増加。これにより今18年3月期は通期連結営業損益で1億3000万円の黒字（前年同期4億4400万円の赤字）を計上、通期予想である16億円（前期比40・4％増）へ向け順調に推移している。工作機械では半導体関連装置業界向けに高精度タイプの研削盤やCNC平面研削盤などの販売が増加。（と）

40．4%営業増益見込む

萩原電気（7467）

1Q75%増益で上ぶれ期待

富萩原電気（7467）は好決算発表後、当面の材料出尽くし感から利益確定売りに押されていたが、早くもスピード委調整が一巡し、切り返しの動きを強めてきた。

自動車向け半導体や電子部品に加え、組み込みソフト・ハードウェア開発支援やカスタムLSIなどの技術サポートが伸び、18年3月1Qは売上高247億7800万円（前年同期比11・1％増）、経常利益7億1600万円（同75・3％増）と2桁増収で利益が急拡大。2Q計画の経常利益12億2000万円（同0・3％増）に対する1Qの進捗率は58・6％となっており、季節要因を考慮すると通期計画の29億2000万円（同4・4％減）は大幅な上振れが期待される。

現予想でPERは10倍台、PBRも0．8倍と業績、資産両面から割安感が働く。（先）

自動車向け半導体伸びる

※チャートは日足

本紙関係者座談会

好業績銘柄の押し目を買う

テロの影響は一過性

―　8月相場の前半は北朝鮮と米国に振り回された格好になったね。第1四半期決算が終了して全般は材料不足だけどお盆休みも明けることだし、そろそろ全般相場が盛り上がることを期待したい。いつもの通り、現状をM君に現状を分析してもらおう。

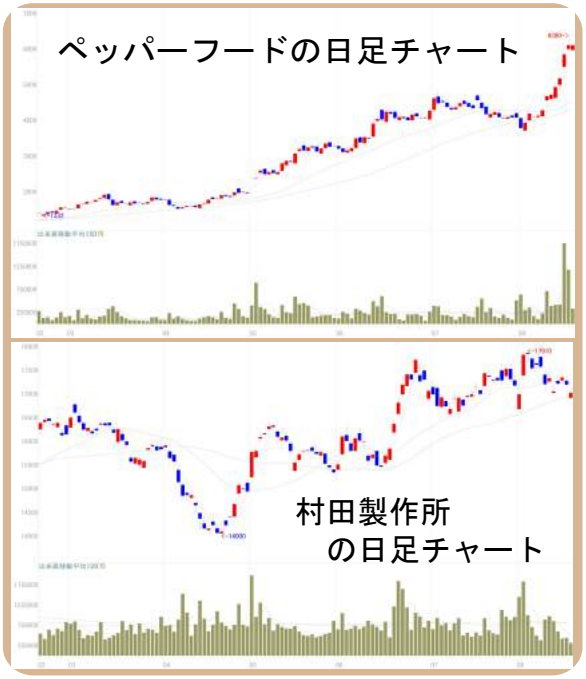
M　今回の北朝鮮の問題はSQ前というタイミングが良すぎる時期に表面化したことが最悪だったね。8月のSQは11日の金曜日が祝日だったから、SQ後は3連休になった。ポジションが軽くなるSQ前に売り仕掛けで暴落すれば、9月限が仕込みやすくなる。10日のナイト以降は225の先物やCMEが1万9300円台まで暴落したから、仮にここで仕込むだけで、現在では結構な含み益になる。

S　それと17日のNYの急落。この要因はいろいろあるけど、下げが加速したのはスペインのテロが報道されてから。これを受けて週末の東京市場も下げているけど、テロの問題は一過性と思う。8月第4週も米韓合同演習などの不安要因があるけど、下がり続けることはないだろう。好調な企業業績が下値を支えると見ている。

T　確かに好決算を発表したあと買い進まれ、新値を取る銘柄が増えているし、材料出尽くし感から売られていた好業績銘柄も買い直されている。

―　それでは個別銘柄をあげてもらおう。

M　全般相場の波乱に関係なく上昇したのが15日から東証1部へ指定変更となった**ペッパーフードサービス**（3053）。立ち食いの「いきなりステーキ」の成長が改めて注目されており、ファンドなどの買いに加えて、個人投資家の買いも言われている。どこまで上がるかは分からないけど、同社株以外でも好調な外食企業を見直す動きもある。



丸亀製麺で成長している**トリドールホールディングス**（3397）は第1四半期で売上高12・3％増収、8・2％営業増益を達成しており、調整後の株価は魅力だね。

K　短期的な円高で調整した電子部品株は押し目買いの好機だろうね。特に9月は米アップルから新型iPhoneの発売が予定されており、**村田製作所**（6981）や**ローム**（6963）などは見直されると思う。

S　電子部品株には外国人投資家の関心も高いようだ。先日、外資系証券が**アルプス電気**（6770）の目標株価を引き上げていた。

T　仮想通貨関連も改めてマークしておくべきだろう。ビットコイン分裂は混乱なく完了し、相場は再び上値追いで4500ドルを突破した。信用規制を解除された**インフォテリア**（3853）あたりから動きが出始めているよ。

新型iPhoneで電子部品株

星野三太郎の 株街往来

～「歩きスマホ」～

最近になって「歩きスマホ」に絡む話題が多くなってきたように感じる。ＪＲ三ノ宮駅のホームで、スマートフォンを見ながら歩いていた女性に体当たりして重傷を負わせたとして、男性が逮捕されたニュースがあった。身近なところでは筆者が通勤する沿線でも人身事故で電車が大幅に遅延したときに歩きスマホでホームから転落したことが原因と言われていた。街中を歩いている際にも、スマホを見ながらバイクを運転した男性と衝突しそうになったことがあるが、一歩間違えれば大事故に発展するだけに、ひとりひとりがマナーを守るしか防ぐ手立てが無いと感じる。

数年前に眼鏡型のウェアラブル端末の開発が株式市場で話題になっていた。これが普及すれば目の前に情報が投影されることからスマホを持つ必要が無くなることから必然的に「歩きスマホ」が撲滅されるなんて指摘もあったが、米国の大手ＩＴ会社も開発を断念してしまった。現状ではスマホを超える便利な端末は存在しないようだが、気付かぬうちに自分自身がスマホに支配されてしまっていることを認識すべきだろう。新型ｉＰｈｏｎの登場も話題になる時期だが、高性能端末も一歩間違えれば凶器になる。

New product

イートアンド　醤油仕立て鶏白湯鍋つゆ

大阪王将の常温調味料新商品

大阪王将　醤油仕立て鶏白湯鍋つゆ

イートアンド（２８８２）は、中華専門店「大阪王将」が提供する常温調味料シリーズの新商品「大阪王将　醤油仕立て鶏白湯鍋つゆ」を８月末より、全国で販売する。

鶏白湯のコク、２種のにんにく（おろしにんにく、焦がしにんにく油）の風味が食欲をそそる鍋つゆで、餃子鍋がおすすめ。うまさが際立つ醤油仕立ての鶏白湯でパンチのある味付けにこだわっている。容量はストレートタイプ７５０グラムでオープン価格。全国の量販店で販売する。厳選された原材料を徹底した管理体制の下で製造された商品は、子供からご高齢の方まで安心して食べることができる。

企業レター

複合都市開発事業に参画

大和ハウス工業

インドネシアジャカルタで

サウスイーストキャピタルプロジェクト

大和ハウス工業（１９２５）は海外交通・都市開発事業支援機構（ＪＯＩＮ）とともに、ＴＲＩＶＯ社が進める、インドネシア共和国ジャカルタ南東部における複合都市開発事業「サウスイーストキャピタルプロジェクト（仮称）」に参画することを決定し、８月９日に調印式を行った。

今回のプロジェクトは、ジャカルタ中心部から南東へ約24㎞に位置し、約12万㎡（予定）の敷地に、高層分譲マンション12棟（総住戸数約５００戸）やショッピングモール、ホテル等を開発する計画で、インドネシアで同社初となる複合都市開発事業。ＪＯＩＮとともにプロジェクトの事業会社であるＳＡＹＡＮＡ社の株式60％をＴＲＩＶＯ社より取得、プロジェクト名を「ＳＡＫＵＲＡ　ＧＡＲＤＥＮ　ＣＩＴＹ」に変更し、分譲マンションの販売を開始する。

敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

「ジリ貧」相場継続か？

動き始めた日経平均株価

8月第3週の日経平均株価は大きく動いた。

週初に「北朝鮮リスク」により一時イブニングでは1万9350円まで売られたが、売られ過ぎの状態であり金正恩氏が「今暫く米国の出方を見る」との情報が伝わると株価は売られる前の水準まで一気に戻した。しかし、水曜日には材料不足で揉み合い相場が続き、チャート的には転換を示す「十字線」がでた。

相場の上値が重たくなっていたところにスペインでのテロやトランプ政権内のゴタゴタを理由に金曜日は大幅下落となり安値を試す展開となった。

後講釈で下がる理由は色々あるだろうが米国も日本も相場が目先天井をつけた可能性はある。NYダウは7月11日以来の25日移動平均線割れとなり政局不安が高まる中、戻りは鈍そうである。

NY市場が調整に入った場合、一番影響を受けるのが日本株である。為替も米国債の利回りが低下するなか円高傾向であり、4月17日の1ドル108円10銭を試す可能性が高い。

売買動向をみても外国人投資家は4週連続で売り越しており、売り越し額の合計は1・2兆円に達している。結局、現在の買い主体は「日銀」だけの状態であり、下がれば日銀が昼から買いを入れることが判っているため、大胆な売り崩しは難しいと思われるが戻れば売られる「ジリ貧」の相場が今週も続くと思われる。

拡大するボリンジャーバンドの▼1σ（18日現在1万9740円処）から▼3σ（同1万9380円処）の間での動きとなろう。

今週の「北朝鮮リスク」としては米韓合同演習が行われる21日や金正日の念日である25日の「先軍の日」には警戒が必要である。

「先軍政治」が始まった記

（ハチロク）

日経225先物日足チャート

今週のスケジュール

- 21日　6月全産業活動指数（13:30）
- 22日　独8月ZEW景況感指数（18:00）
- 23日　米7月新築住宅販売件数（23:00）
- 24日　米7月中古住宅販売件数（23:00）
  米経済シンポジウム開催、テーマは「ダイナミックなグローバル経済を促進する」（～26日ワイオミング州ジャクソンホール）
- 25日　7月消費者物価指数（8:30）
  7月企業向けサービス価格指数（8:50）
  独8月Ifo景況感指数（17:00）

編集後記

英国で仕事を続けている同窓生が久々に帰国しているとのことで集まりがあった。その日は電子版の締め切りで、二次会から出席するつもりでいたが、幹事からみんなが待ってるので一次会に参加しろと言われ、急いで宴会に駆けつけたところ、小学生時代の同窓会の幹事にされてしまった。

さて、相場は北朝鮮を巡る地政学リスクに続き、米政権不安、スペインテロなど問題が尽きない。ただ、ブレグジットの背景は納得いくまで聞かせてもらえたので、心に余裕を持って流れに身を任せることにした。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。